

～教育委員から一言～



「無駄を許す」 ことの大切さ

教育長職務代理者
大河 龍生

「早くしなさい」「無駄なことばかりして」。日々の暮らしの中で、ついそんな言葉を口にしてしまうことはありませんか。AIやネットの活用が進み、効率や成果が求められる現代社会において、子育ての現場でも最短距離での子どもの成長を期待しがちです。しかし、私たち大人から見ると一見「無駄」に見える時間が、子ども達の健やかな成長につながっていることに気づかされることがあります。

例えば、ネットで検索してすぐ答えを出すのではなく、教室で友達と考えを出し合い納得解を探す経験、失敗を恐れず挑戦して回り道をする経験、答えのない遊びに没頭したり、ぼーっと空を眺めたりする時間、そしてとりとめのない親子や友達同士のおしゃべり。これらは、効率の面から見れば「無駄」と思えるかもしれませんが、この経験や時間こそが子どもの自ら考える力や粘り強く探求する力、豊かな感性や創造性を育む土壌になるのです。

効率を極めるAI時代だからこそ「無駄を許す」という視点で、AIにはできない「寄り道」や「失敗」を大切に、子ども達が豊かに育つ教育環境を学校・家庭・地域が連携して整えていきましょう。



多くの支えに感謝

教育委員
宮本 千春

教育委員になり一年が経ちました。この一年を通して改めて感じたのは、子どもたちは学校や家庭だけでなく、地域のさまざまな組織や多くの方々の力によって支えられているということです。登下校の見守りや地域行事をはじめ、日々のあたたかな声かけや関わりなど、当たり前のように過ごしている日常が、多くの支えによって成り立っていることを実感しています。

私事ではございますが、この春、第一子が中学校を卒業し、義務教育を終えました。その歩みを振り返る中でも、やはり多くの方々によって見守り支えていただけてきたことに気づき、深い感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもは地域をはじめとした多くの関わりの中で育まれていくものだと思います。こうして安心して子育てができることへの感謝を胸に、これからもその支えを大切にしていきたいと思っています。



スマホの使いすぎ

教育委員
志水 矛

新年度を機に、スマホを持つ割合も増えるのでその使い方について、もう一度話し合ってみてはいかがでしょうか。連絡を取り合ったり、情報を得たり、それは便利なツールですが、使いすぎが良くないことも周知の事実です。私自身視聴やゲームで時間に追われ、後悔することがあります。

人間の脳は、刺激によって学習し、行動を強化していく仕組みになっているそうです。スマホやゲームは、まさにこの刺激のかたまりなのです。このような環境は、子どもの脳にとっては非常に魅力的であり、強い習慣化を促します。そして、その習慣化の悪影響は深刻です。

スマホの長時間使用は、子どもの脳、特に思考や感情を制御する前頭前野の発達を阻害し、学力低下、集中力・記憶力の低下、感情制御の難しさを引き起こす原因となるそうです。脳科学的にも1日1時間以上の使用で影響が出始めると報告されています。使いすぎずに活用したいものです。



「行ってらっしゃい」考

教育委員
井本 学明

私たちが普段何気なく使っている「行ってらっしゃい」は、ただの見送りの言葉ではなく、日本語ならではの優しい思いが込められた表現です。もともとは「行って、そして戻っていらっしゃい」という意味が省略された言葉です。

そこには①外に出る相手に「安全に過ごしてね」という無事を願う気持ちが含まれています。②「またここに戻ってくる場所があるよ」という安心感を伝えています。③送り出す人と出ていく人（家族・仲間・大切な人）の繋がりを示しています。④日常の何気ない一言だけど、「あなたを気にかけているよ」という思いやりの表現なのです。

英語の「Have a good day」、「Take care」や「See you」とも少し違って、「帰る場所があること」まで含んでいるのが、日本語の特徴です。だから「行ってらっしゃい」は、単なる挨拶ではなく『あなたの帰りを待っていますよ』という温かいメッセージなんです。「行ってきます」も「行って、帰ってきます」と無事に戻る約束なんです。

教育委員会だより



令和8年5月 第49号 発行：赤穂市教育委員会 ☎0791-43-6857 FAX 0791-43-6895



「令和8年度赤穂教育プラン」策定について

教育長 藤本 浩士

近年、教育の改革は世界的に非常に高まっています。特に、児童生徒一人一人の個性や能力に応じた教育が求められ、従来の画一的な教育から少人数による教育への良さが見直され、その転換が進んでいます。ここ数年では、全国的にICTが整備完了されるとともにその更新時期も重なっております。また、コミュニティースクールの更なる推進、中学校部活動の地域展開、教員の働き方改革など、様々な分野での改革は、待ったなしの状況であります。

教育委員会では、市長との総合教育会議や定例教育委員会等でその都度、意見交換し、子育て支援体制や学校園所保育・教育、生涯学習の在り方を話し合い、保護者、地域の皆さんと一緒に進める教育振興施策への具体化を図っています。

この度、社会情勢の変化や教育課題に対応するため、教育振興基本計画の中間見直しを行いました。これに基づき、重点施策を具体化した「令和8年度赤穂教育プラン」を掲げ、基本理念である「夢と志を育む教育」の実現に向けた取組をより一層推進してまいります。主な取組としては、給食費無償化等の子育て支援、いじめ・不登校への迅速な対応、ICT活用や施設整備により、教育環境の充実を図ってまいります。あわせて、スポーツや生涯学習の推進、歴史文化の継承に努め、誰もが輝き、心豊かに学

び続けられる教育の振興に邁進してまいります。

特に、学校園所教育では、子どもが主役であることを念頭に、「キャリア教育」「人権教育」をはじめ「幼保小中連携教育」、英語教育を中心とした「グローバル化に対応した教育」「確かな学力の育成」、インターネットなど「メディアとの正しい接し方」の教育啓発、特別支援教育の充実に資する「インクルーシブ教育」などに取り組んでまいります。

そして、従来の一斉授業を中心とした教育から、個々の児童生徒の理解度や進度に合わせた個別最適な学びの実現に向けた取組や、ウェルビーイングの向上（身体的・精神的健康な状態、良好な人間関係、自己肯定感の涵養）に向けた取組にも全力を注いでまいります。

いうまでもなく本市の宝である子どもたちは、それぞれが様々な可能性を秘めています。一人一人の子どもたちが「夢と志」を持って学んでいくことの楽しさや、周囲の人々との関わりを通して「生きる力」を身に付けていくことの素晴らしさを心から感じ、「夢に向かってチャレンジしていく力」を培っていけるようにしていくことが、子どもたちに関わる私たちの務めでもあります。

私たち自身も教職員であり、一人の人間として子どもたちと関わり合い、新たな教育課題に対応しながら、共に日々成長していく必要があると思っています。



[赤穂市子育てスローガン]

すくすく（乳児期）

のびのび（幼児期）

いきいき（少年期）

基本理念

“あすの赤穂”をになう こころ豊かで自立する人づくり ～夢と志を育む教育をめざして～

人々が生涯にわたり夢と志をもち、学校教育、歴史や文化、スポーツを通じて個性や能力を発揮し、主体的に活躍できる教育環境の整備と地域コミュニティの構築を推進し、次代をになう自立する人づくりを目指す。

キャリア教育 の推進

生涯学習 の推進



《《学校園所教育の充実》》

- 【小学校・中学校】
 - 「確かな学力」を育成するため「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の改善
 - 学校運営協議会を中心とした「地域とともにある学校づくり」の推進
 - 体健教育・道徳教育・人権教育を通じて、「豊かなこころ」の育成とウェルビーイングの向上
 - 一人一人の教育的ニーズに応じた、学びの場における指導・支援の充実
 - いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を図る生徒指導の充実
 - 適切に判断し、命を守り抜く力を育成する防災・安全教育の推進
 - 校種間の連携による円滑な接続と系統性を重視した指導の充実
 - 「すこやかな体」の育成をめざした健康教育の充実と体力・運動能力の向上
 - グローバル化に対応した外国語教育・伝統文化に関する教育の推進
 - I C T機器を活用した学習活動と情報モラル教育の推進
- 【幼稚園・保育所】
 - 「生きる力」の基礎を育む「主体的・対話的で深い学び」を旨とする「育育の創造」
 - 「学校運営協議会」を中心とした地域連携の推進及び子育てに関する情報発信や子育て相談等、保護者・地域と共に歩む保育の実施
 - 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた保育展開と小学校教育との円滑な接続推進
 - 「自己を大切にしようとする心」「豊かな感性」を育む人権教育の推進
 - 一人一人の発達やニーズに応じた支援体制の充実と関係機関との連携推進
 - 家庭と連携した発達に応じた基本的生活習慣の確立に向けた取組
 - 感染症予防に配慮した保育と子どもたちの健やかな成長の保障
 - 幼保一体化を推進するための職員の交流
 - 保育者（保育士、幼稚園教諭）の資質・能力向上のための研修実施
 - 子育て世帯の経済的負担軽減のため、3歳以上の給食副食費の一部支援を実施

《《給食事業の充実と適正運営》》

- 安全で安心な給食の提供及び新しい調理機器を活用した献立の充実
- 地産地消の推進として地元食材を使った献立を実施
- 食物アレルギー対応として乳製品、卵の除去食提供の実施
- 安全な作業環境整備のために、給食施設設備の日常点検、施設修繕、調理器具の更新等を実施
- 食中毒及び異物混入防止対策として薬剤師による定期点検、飛翔昆虫対策等を実施し、安全衛生管理を徹底
- 栄養教諭等による給食指導及び給食を活用した食に関する指導等の充実
- 警報発令時対応、アレルギー対応、感染症対応等について学校教育課・学校園との連絡調整の強化
- 子育て世帯の経済的負担軽減のため、幼稚園児及び小・中学生の給食費全額無償化を実施

《《生涯スポーツの普及・振興》》

- 市民の健康づくりのため、市民総合体育祭等を開催するとともに、その他協賛事業として各種スポーツ大会を実施
- 忠臣蔵旗少年剣道大会や各種目協会のスポーツ大会等を通じた友好親善都市とのスポーツ交流の実施
- スポーツの日イベントや少年野球・中学野球・高校野球の親善試合などスポーツの一貫指導と健康とスポーツを機軸としたスポーツ推進事業の実施
- 体育協会やスポーツ少年団、スポーツクラブ21などの組織活性化と関西福祉大学・赤穂高等学校との連携・協力による団体の育成強化
- 赤穂義士杯青少年柔道大会や市長旗少年野球大会など広域大会の実施
- 安全で快適な施設の利用促進と利便性を向上するため、市民総合体育館などのスポーツ施設整備の実施
- スポーツ先進都市の実現に向けた赤穂市スポーツ推進計画に掲げる施策の推進
- S D G sの達成に向けて、社会におけるスポーツの価値のさらなる向上への取組

《《図書館事業の充実と適正運営》》

- 図書整備充実のため図書館蔵書を計画的に購入
- 読書活動推進のため歴史文学講座、絵本講座、朗読講座等の実施
- 新着図書案内の発行、話題の本・特集コーナー・イベント等、ホームページやSNSも活用した図書館情報の提供・発信
- 周辺地区を対象としたブック宅配サービスの実施
- 電子図書館サービス充実のため電子書籍の購入と地域資料の電子書籍化の実施
- 読書記録通帳による子ども読書活動の推進
- 東播西播定住自立圏及び播磨圏域連携中枢都市圏域内の連携事業や相互利用の推進

《《地域文化の顕彰・整備》》

- 赤穂城跡の施設整備等の推進
- 伝統文化の調査・保存の推進
- 各種開宴等に伴う試掘・発掘調査の実施、調査報告書の刊行、出土遺物の適正管理
- 田淵氏庭園等の指定文化財の保存・整備の推進
- 文化財資料のデジタル化等による文化財資料の充実整備
- 文化財パンフレットの刊行等による保存顕彰の推進
- ホームページによる情報発信、文化財保護連絡員活動による普及啓発の実施
- 赤穂城跡・有年遺跡公園、旧坂越浦会所の施設管理と公開の推進
- 有年考古館における企画展等の実施
- 「図説赤穂市史」の編集、市史史料集シリーズの編集・発行による市史等編さん事業の推進
- 忠臣蔵浮世絵データベースの活用促進

《《施設・設備の充実 生涯学習の充実》》

- 赤穂中学校大規模改修の実施
- 小中学校照明設備のLED化改修の実施
- 小中学校の老朽化対策等施設環境整備の実施
- 児童生徒用「1人1台端末」及び情報教育機器の更新整備
- 全小中学校でアフタースクールを実施
- 文化施設の施設整備（利用環境の快適性向上と適切な維持管理）
- 文化活動の推進
 - ＜市民会館関係＞
 - （8）文化団体の支援や美術展応募者数の増加促進
 - （9）市民会館施設整備の実施
 - ＜公民館関係＞
 - （10）高齢者大学の充実と市民のニーズに対応した魅力ある講座・教室の実施
 - （11）公民館施設整備の実施

PDCAサイクル (plan-do-check-action)

学校園所・家庭・地域の連携協力

人権文化 の創造